

導入事例 I 中学校

Hydro Ag⁺による1日1回の除菌活動で、 学級閉鎖がゼロに

流行開始は11月下旬、
ピークは1月下旬～2月上旬

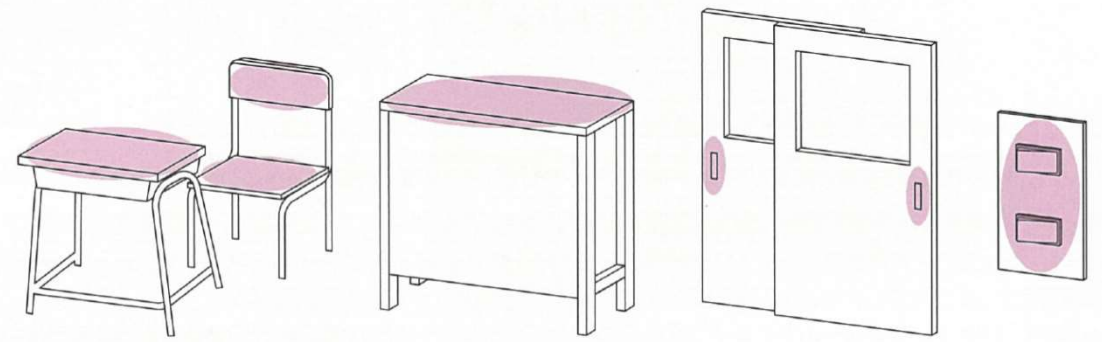
富士フィルムの銀系抗菌剤を含有したアルコール清拭材「Hydro Ag⁺」(ハイドロ エージープラス)を使用して、1日1回の除菌活動を行い、教育現場でのインフルエンザ集団感染の抑制が可能か神奈川県内の中学校で検証。インフルエンザ発症率が10%にとどまり、1学級も学級閉鎖が起きなかったという結果が得られました。



[検証に使用した製品]

- 対象：神奈川県内の公立中学12校の全学年・学級(総学級数：148、総生徒数：4,035)
- 活動期間：2018年11月1日～2019年3月31日のうち、各校3～5か月間実施
- 除菌箇所：生徒の机回り、教卓、電灯スイッチ、ドアの取っ手部、階段の手すり、トイレの座面等の「高頻度接触面」
- 除菌頻度：生徒の机回り...1日1回、共有場所...1週間に1回以上(登校日のみ実施)

ピンク色：除菌箇所



「いちにちひとふき除菌」のご提案

子どもたちが触れる身の回りのものを1日1回ひとふきする除菌活動

■インフルエンザ様疾患発生状況(2018/19シーズン)

	学級閉鎖 学校数
全国	25,357校
神奈川県	1,114校
対象校	0校

導入した学校からの感想

- この活動をすることで忙しくなるかと想像していましたが、通常の清掃時間内で生徒が対応でき、かつインフルエンザ患者が減ったことで職員の負荷が大幅に減って大変助かりました。
- 担当の生徒が同級生の健康を守っていることに実感を持てたことで、人の役に立てたという喜びを与えることができ、情操教育としてもよかったと思います。
- 学級閉鎖がなかったことで授業の進行も非常にスムーズにでき、学校運営にも非常に効果的でした。
- 職員室でも使ったところ先生の感染が減り、とても良かったです。

導入事例Ⅱ 医療機関

医療現場での導入状況



国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院(東京都中央区)では、環境清拭材のひとつに「Hydro Ag⁺アルコールクロス/スプレー」を導入しています。